

平成 26 年 4 月 11 日
一般財団法人難病治療研究振興財団

ワクチン接種後副反応医療相談窓口設置のご案内

この数年、子宮頸がんワクチンなどの予防ワクチン接種後に副反応が現れて苦しんでいる患者様が多いことが報告されています。

子宮頸がんワクチンに限らず、ワクチン接種後の副反応は、接種後すぐに症状が現れる場合と 1 か月以上たってから現れる場合があります。

副反応の症状は、疼痛、自律神経の異常、脳神経などの症状が広範囲に現れているため、線維筋痛症、原因不明の病気、心因性の病気と診断されて各医療機関を転々としている方が多いことも事実です。いずれにせよ、早期に適切な診断を受けて治療を開始することが最も大切なことです。

本財団は、こういったワクチン接種による副反応のため、日常生活に困っている方、適切な治療を受けることができない方を対象に医療相談窓口を設置いたしました。

医療相談をご希望される方は所定の用紙にご記入の上、本財団事務局までお送りください。

相談窓口の流れ

ご相談者（患者様）

- 1、 財団所定の相談用紙にご記入いただく
- 2、 相談用紙を財団に FAX、郵送、E-mail のいずれかの方法でお送りいただく
- 3、 財団よりご相談の回答の連絡が届く

難病治療研究振興財団

- 1、 ご相談者（患者様）からお送りいただいた用紙の受取を発行する
- 2、 お送りいただいた用紙の情報を基に、小児科、脳神経内科、リウマチ膠原病、精神科をはじめとする各領域のエキスパートに相談対応の依頼を行う
- 3、 ご相談者（患者様）にご相談の回答のご連絡を行う

- ご相談の対応は、各領域のエキスパートが行いますので、お電話ではなく書面のみの受付とさせていただきます。
- なるべく早く対応を行うように努力いたしますが、少々お時間がかかりますことご理解くださいますようお願いいたします。
- 財団からのご連絡が可能なご家族の方のお名前、ご連絡先を必ずご記入くださいますようお願いいたします。
- 電話、E-mail でご連絡をすることがありますので、わかりやすい字ではっきりとご記入ください。